http://decfamily.p1.bindsite.jp/2013NEW/

We 25R

No.246　03/09/04

好きなことを選ぶ（進路・科目）

補習に出た人には紹介したのだが、８月９日（金）に次のようなニュースが流れた。

＊

東京大学(東大)は8月8日、ヒトとイヌの絆が強いほど、あくびがうつりやすいことを明らかにしたと発表した。

同成果は日本学術振興会外国人特別研究員のテレサ・ロメロ研究員(現:東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻特任研究員)、同研究科博士課程・日本学術振興会特別研究員の今野晃嗣 研究員(現:京都大学野生動物研究センター・日本学術振興会特別研究員PD)、東大大学院総合文化研究科広域科学専攻の長谷川壽一 教授らによるもの。詳細は8月8日(米国時間)に「PLOS ONE」に掲載された。

ヒトでは、見知らぬヒトのあくびよりも親しいヒトのあくびの方がうつりやすいことが知られているが、長年、人間と共に生活をしてきたイヌでも同じような現象がみられるのかについては、これまで十分な検証は行われてこなかったという。

（マイナビニュースより）

＊

東大がどんなスゴイ研究成果を発表したのかと思ったら、「ヒトとイヌの絆が強いほど、あくびがうつりやすい」というのだから結構笑える。ただ、このニュースを紹介しながら私が思ったことは、進路に悩んでいる人は、やはり「自分の好きなこと」「興味のあること」を第一にして考えるべきだということである。大学で好きなことを専攻すれば、それにともなって、高校生の自分には想像もできないような研究やプロジェクトが進行していることが分かってきて、さらにそれに関わる中で、本当に自分のやりたいことが見えてくるといったことがあるかも知れないと思うからである。

そんな一端に触れるチャンスがオープンキャンパスである。何も自分の志望する大学でなくてもよいから、これから開かれるオープンキャンパスや学園祭などにぜひ参加してみることだ。思いもよらぬ学問や研究が進行しているかも知れないではないか。

＊

ところで、後期に入ったら、いよいよ科目選択（＝進路選択）の時期になる。夏休み前の個人面段では、そんな点についても考えるように話したはずだが、ここへ来て文系の理科に対する考え方がちょっと変化してきた。

一般に文系で理科を２科目選択するとなると、生物を基本に地学を選択することが多く、化学や物理が好きなら、地学の代わりにそれを選択することもあり得るという話をしたと思うが、「物理基礎」「化学基礎」になってからは内容がかなり易しくなっており、昨年の「生物基礎」「地学基礎」と比較して今年の科目の方が好きだなと感じられる人は、文系でも積極的に「物理基礎」や「化学基礎」を選択することもあり得るのではないかと学年会で話題になっているのである。この辺りは、さらに理科の先生を中心に学年でも検証していくことになっているが、とにかく「物理基礎」や「化学基礎」が好きな人は、その選択も十分にあり得るということだ。

というわけで、期末考査に向け（理系の人は当然として）物理・化学もがんばろう。